

Events イベント&情報

エントランスホールでのコンサートや名画上映会をはじめ、館内のさまざまな空間を使って有料、無料のイベントを多彩に展開します。

ミュージアムコンサート

美術館の調べ

●4月6日(土)

安達 萌 ピアノリサイタル

＜演奏曲目＞ドビュッシー「ベルガマスク組曲よりプレリュード、メヌエット、月の光、パズィエ」「喜びの島」/ショパン「アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ」ほか

＜出演者からのひと言＞美術館独特の空気が大好きです。ピアノの音色が楽しく響きわたりますよう、心を込めて演奏させていただきます。◎安達萌(ピアノ)。大阪教育大芸術専攻卒業、同大学院修了。第23回和歌山音楽コンクール第1位、和歌山市長賞受賞) エントランスホールにて 14:00～ 無料



安達 萌

美術館の調べ

●4月13日(土)

スプリング コンサート

＜演奏曲目＞メンデルスゾーン「シュテックメスト」「歌の翼による幻想曲」/タファネル「ミニョンの主題によるグラッド・ファンタジー」/ドビュッシー「前奏曲集」より

＜出演者からのひと言＞温かい春の日差しが降り注ぎ、桜の花が咲くこの季節に合う曲を選びました。フルートとピアノの明るく軽やかな音色を、どうぞお聴きください。◎坪井彩奈(フルート。大阪音楽大フルート専攻卒業。なにわ芸術祭新人音楽家講演会、日本フルート協会新人演奏会など出演。日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団員) ◎桑早穂子(ピアノ。京都女子大発達教育学部音楽教育学専攻卒業。京都市立芸術大大学院音楽研究科修士課程修了。第4回神戸芸術センター記念ピアノコンクールにて銀賞受賞) アトリエにて 14:00～ 無料



桑 早穂子



坪井彩奈

美術館の調べ

●4月14日(日)

バッハ・ファミリーの室内楽 ～ヴィオラとピアノによる～

＜演奏曲目＞C・P・E・バッハ「ヴィオラソナタ 八長調(ガンパソナタ)」/クラヴィアソナタ 短調(ヴェルテンベルク第1番) / W・F・バッハ「ヴィオラソナタ 八短調」ほか

＜出演者からのひと言＞過渡的な作品と見なされがちなバッハの息子たちの珍しいヴィオラとピアノの作品を集めてお届けします。◎李善銘(ヴィオラ。神戸市出身。東京藝術大音楽学部卒業、同大講師。名古屋フィルハーモニーヴィオラ副主席奏者を務める) ◎秋山麻子(相愛大音楽学部卒業。神戸松蔭女子学院大学礼拝音楽科で教会オルガニストの認定資格。ソロ活動のほかアンサンブル、伴奏者、チェンバリスト、通奏低音奏者として活動) アトリエにて 14:00～ 無料



李 善銘 秋山麻子

美術館の調べ

●4月20日(土)

春深むデュオコンサート ～ヴァイオリンとピアノのしるべ～

＜演奏曲目＞グリーグ「ヴァイオリンソナタ第1番 長調」/ラフマニノフ「前奏曲「鐘」」ほか

＜出演者からのひと言＞春風の心地よい季節に似合う名曲を集めました。息の合ったデュオをお楽しみください。◎井上敦子(ヴァイオリン。京都市立芸術大を経て、英国立リニティ音楽大卒業。V・カントロヴィッチコンクール優勝、ガブリエーリ室内楽コンクール(英国入賞) ◎三浦夏実(ピアノ。神戸女学院大音楽学部ピアノ専攻、同大大学院音楽研究科修士課程を首席卒業。KOBEL国際学生音楽コンクール、横浜国際音楽コンクール第1位、宝塚ベガ音楽コンクール第3位) アトリエにて 14:00～ 無料



井上敦子 三浦夏実

世界の音楽

●4月27日(土)

レクチャーコンサート

エドヴァルト・グリーグ生誕170年記念コンサート ～ノルウェーから愛と自然を～

＜演奏曲目＞「ロマンス」(イプセン詩) / 「叙情小曲集」より「春によせて」/ 「6つの歌曲」(ハイン、ゲーテ詩ほか) / 「ペール・ギュント」より「ソルヴェークの歌」(イプセン詩)ほか

＜出演者からのひと言＞グリーグの珍しい歌曲から傑作の連作歌曲を採り上げます。ノルウェー語ならではのニュアンス、息の合ったデュオの演奏をお楽しみ下さい。◎ウツラ・ヴェストヴィーク(ソプラノ。1984年ノルウェー王国トロハイム生まれ。11歳でトロハイム交響楽団、ノルウェー・オペラ管弦楽団とオペラ「アマールと夜の訪問者」の主演デビュー。1997年トロハイム1000年記念祭でノルウェー国王、女王の前でオープニングを歌う。2000年ノルウェー国民青年コンクール優勝。2011年のリヴェルフェスティバルでパレンボイム指揮ベルリン国立楽団とリストのダンテ交響曲のソリストとして共演) ◎加藤哲子(ピアノ。神戸市出身。大阪音楽大卒業。チューリッヒ芸術大学室内楽・リト伴奏科コンサートディプロマを最優秀で取得、修士課程修了。スイス在住) アトリエにて 14:00～ 無料



ウツラ・ヴェストヴィーク



加藤哲子

四季シリーズコンサート<春>

●4月28日(日)

賀集律子・星山智子・松田恭子 ピアノコンサート ～ピアノソロと連弾のひととき～

＜演奏曲目＞ベートーヴェン「6つの変奏曲」/ ヴァイオリンソナタ第5番「春」第1楽章 / シューマン「幻想曲第1楽章」/ ドビュッシー「喜びの島」/ 中田喜直「春がきて、桜が咲いて」ほか

＜出演者からのひと言＞賀集律子ら神戸山手女子高校で後進の指導にあたる3人が、ソロと連弾で色彩豊かなピアノの世界をお届けします。春の曲や名曲の数々をお楽しみください。◎賀集律子(ピアノ。大阪教育大ピアノ専攻卒業。神戸山手女子高校音楽科勤務。リサイタル、ジョイントリサイタル、デュオリサイタルなどのほか、声楽やバイオリンの伴奏などを多数務める) ◎星山智子(ピアノ。京都市立芸術大ピアノ専攻卒業。アメリカ、フランス留学後、神戸山手女子高校音楽科非常勤講師) ◎松田恭子(ピアノ。桐朋学園大ピアノ専攻卒業。神戸山手女子高校音楽科勤務) アトリエにて 14:00～ 一般3,000円 高校生以下1,500円



賀集律子 星山智子 松田恭子

美術館の調べ

●5月4日(土・祝)

多田真理 ピアノリサイタル

＜演奏曲目＞モーツァルト「きらきら星変奏曲」/ プラムス「4つの小品」ほか

＜出演者からのひと言＞どこかで聴いたことのある曲を中心に演奏させていただきます。気軽に楽しんでください。◎多田真理(ピアノ。東京藝術大卒業、同大学院修士課程卒業。在学中からチューリッヒ芸術大で学びソリストディプロム取得。2009年かずさアカデミア音楽コンクール第2位など受賞多数。ドイツ、スイスでのソロコンサートをはじめ多数のコンサートに出演) アトリエにて 14:00～ 無料



多田真理

美術館の調べ

●5月11日(土)

ミル・フルール アンサンブルコンサート ～フランス音楽の魅力～

＜演奏曲目＞グー「アヴェ・マリア」/ サティ「ジュ・テ・ヴ」/ ドビュッシー「牧神の午後への前奏曲」ほか

＜出演者からのひと言＞午後のひと時、色彩豊かなフランス音楽の魅力を生かして、フルート、ピアノのアンサンブルでお届けいたします。是非聴きにいらして下さい。◎柳川真理子(ピアノ。大阪音楽大ピアノ専攻卒業。ニース国際音楽アカデミー受講、ディプロム取得。加古川少年少女合唱団ピアニスト) ◎奥田愛(ソプラノ。大阪音楽大音楽学専攻卒業、同大専攻科修了。第13回長江杯国際音楽コンクール第3位入賞。加古川シティオペラ会員) ◎山本順子(フルート。大阪芸術大音楽教育学科卒業。同大学院修士課程修了。フルートオーケストラ「La tante」メンバー) アトリエにて 14:00～ 無料



柳川真理子 奥田 愛 山本順子

美術館の調べ

●5月18日(土)

河内仁志・河内麻美 デュオリサイタル

＜演奏曲目＞フランク「ソナタ」/ ライネッケ「バラード」/ ラヴェル「水の戯れ」ほか

＜出演者からのひと言＞情緒溢れるロマン派のフルート作品、そしてピアノの色彩豊かな音色をお楽しみください。◎河内麻美(フルート。大阪教育大音楽コース卒業。推薦により大阪教育大卒業演奏会、フルート協会主催新人演奏会、西宮新人演奏会に出演。フレンドシップ団体に所属し、ラオス・カンボジアの各地で演奏会を行う) ◎河内仁志(ピアノ。京都市立芸術大卒業。2006年第75回日本音楽コンクールピアノ部門第1位。併せて野村賞、井口賞、河合賞受賞。2009年第12回イタリア・モノポリ国際ピアノコンクール第3位、聴衆賞受賞) アトリエにて 14:00～ 無料



河内仁志 河内麻美

美術館の調べ

●5月25日(土)

チェンバロによるヨーロッパお国めぐり

＜演奏曲目＞クーペラン「組曲イ短調」/ パーセル「エア」/ フォーテの別れ」/ バッハ「半音階的幻想曲」/ フレスコバルディ「トッカータ」ほか

＜出演者からのひと言＞バロック時代の珍しい楽器の調べにトークを交えながら国々を巡ります。繊細で美しい響きをお楽しみください。◎三宅真理子(チェンバロ。大阪音楽大ピアノ専攻卒業。ザルツブルグ・モーツァルトウム音楽院で研鑽。「コレギウム・ムジクム・テレマン」とバッハのチェンバロ協奏曲を共演。「バロックin明石」を主催するほか、福岡古音楽祭、古楽コンサートなど各地でソロ、アンサンブルに出演) アトリエにて 14:00～ 無料



三宅真理子

舞台芸術

落語の会

●5月3日(金・祝)

泉美亭ワンコイン寄席 ～ゴールデンウイーク 子供の出でくる噺特集

落語国の可愛らしい子供vsバカ息子～
＜口演演目＞露の吉次「ねずみ」 露の団六「近日息子」
＜吉次のひと言＞日本一の名工、左甚五郎がふらりと旅に出て宿場で出会った小さな子供の客引き。何かわけがありそう。興をひかれた甚五郎は「ねずみ屋」に泊まるのだが…。現代社会においても心得ごとの一つである「先練り機転」。父親に機転を利かせると叱られている少々まんやりの息子。どちらも落語国の愛すべき子供たちです。◎露の吉次(つゆの・きち。尼崎市出身。関西大卒。昭和62年、露の五郎兵衛に入門) ◎露の団六(つゆの・だんろく。神戸市出身。神戸大卒。昭和55年、露の五郎兵衛に入門。とぼけ味と知的な説得力で聞かせる) レクチャールームにて 14:00～ 500円(当日13:00から販売)



露の吉次 露の団六